

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	長野県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	松本市立開智小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	4	4	3	3	2	24	35
児童数	117	111	119	127	98	100	9	681	

研究の概要

1. 研究主題

自ら学び、分かる喜びを感じられるコース別学習は、どうあったらよいか
 ~ 1時間の授業における一人一人の評価を生かして ~

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

* 実施学年及び教科を選択した理由を記すこと。

- ・ 4年生・国語
 課題別に応じた指導ができるため
- ・ 4年生・算数
 児童の理解度に差が生じはじめているため
- ・ 5年生・国語
 課題別に応じた指導ができるため
- ・ 5年生・算数
 コース別により、児童の理解度の差を改善できるため
- ・ 6年生・国語
 作文・短歌・俳句等の表現技能の充実が図られるため
- ・ 6年生・算数
 コース別により、児童の理解度の差を改善できるため

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 「自ら学び、分かる喜びを感じられるコース別学習は、どうあったらよいか」 ~ 1時間の授業における一人一人の評価を活かして ~</p> <p>仮説 子どもの実態に合わせながら、意欲がかき立てられるようなコース編成を行い、自ら選択するコース別学習の中で、評価と指導の一体化を図れば、分かる喜びが実感でき、確かな学力の向上が図られる。</p> <p>研究内容・方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コース別学習の実施方法について <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間割編成 ・ コース編成 ・ コース別学習の運営等 2 評価方法について <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元別テスト・自己評価カード・学習カード・観察/記録 3 評価規準について <ul style="list-style-type: none"> ・ 評価規準の作成・単元展開及び1時間における評価計画の作成 4 評価と指導の一体化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題把握・個人追究・一般化における評価と指導
--------	---

平成 15 年度	<p>テーマ 「自ら学び、分かる喜びが感じられるコース別学習は、どうあったらよいか」 ～ 1時間の授業における一人一人の評価を活かして～</p> <p>仮説 子どもの実態に合わせながら、意欲がかき立てられるようなコース編成を行い、自ら選択するコース別学習の中で、幅広いより確かな評価を活かして指導との一体化を図れば、分かる喜びが実感でき、確かな学力の向上が図られる。</p> <p>研究内容・方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コース別学習の実施方法について <ul style="list-style-type: none"> ・時間割編成 ・コース編成 ・コース別学習の運営等 2 評価方法及び客観的な基準づくりについて <ul style="list-style-type: none"> ・単元別テスト・自己評価カード・学習カード・観察/記録 ・教師評価カード ・定期的な情報交換 3 評価規準について <ul style="list-style-type: none"> ・評価規準の見直し・単元展開における評価規準の見直し ・評価規準をもとに、コースの児童の実態に合った具体的な評価数値の決めだし 4 評価と指導の一体化 <ul style="list-style-type: none"> ・評価を活かした単元展開と指導内容/方法の見直し ・1時間の授業（課題把握・個人追究・一般化）における評価と指導
----------------	--

平成 16 年度	<p>テーマ 「自ら学び、分かる喜びが感じられるコース別学習は、どうあったらよいか」 ～ 1時間の授業における一人一人の評価を活かして～</p> <p>仮説 子どもの実態に合わせながら、意欲がかき立てられるようなコース編成を行い、自ら選択するコース別学習の中で、幅広いより確かな評価を活かして指導との一体化を図れば、分かる喜びが実感でき、確かな学力の向上が図られる。</p> <p>研究内容・方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 評価方法について <ul style="list-style-type: none"> ・単元別テスト・自己評価カード・学習カード・観察/記録 ・教師評価カード ・定期的な情報交換 2 評価規準について <ul style="list-style-type: none"> ・評価規準の見直し・単元展開における評価規準の見直し ・評価規準をもとに、コースの児童の実態に合った具体的な評価数値の決めだし 3 評価と指導の一体化 <ul style="list-style-type: none"> ・評価を活かした単元展開と指導内容/方法の見直し ・1時間の授業（課題把握・個人追究・一般化）における評価と指導
----------------	---

(3) 研究推進体制

<p>* フロンティアスクールとしての実践研究組織図等を示すとともに、学校として研究体制上、特に工夫している点などあれば記述すること。 また、継続校においては、昨年度から改善されたところがある場合には、それがわかるように記述すること。</p>	
<p>研究推進委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導改善研究部会 (研究主任、4, 5, 6年担任、少人数加配教員) — 道徳教育研究部会 — 社会科教育研究部会

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

成果

- ・ 学び方別・課題別等、児童の希望に応じたコース編成を工夫し、単元展開及び1時間の授業における評価計画を練り上げ指導に生かした。たとえば事前の評価を生かして、その子に応じたヒントカードや学習カードを準備し指導するなど、きめ細かな指導を行うことによって、分かる喜びを実感させることができ、コース別学習に対する満足感や更なる期待感が高まった。
- ・ 5年生の単元末テスト(光文書院「算数V」)では次のような結果である。

	垂直と平行	四角形	計算の見積もり	小数のかけ算	面積
本校	95	86	91	90	92
全国	87	81	81	83	83
差	8	5	10	7	9

他の単元においても上記の表のように全国の平均点を上回っている状況である。また、コース別学習を実施している4年生や6年生でも全国平均を上回っている。

- ・ 6年生(コース別学習後)の単元テストで理解のゆっくりの子どもの「数学的な考え」の向上が以下のようにみられた。数字は50の点数

	整数	分数のたし算ひき算	計算の見積もり	平均とその利用	体積
S児	0	25	23	25	30
T児	10	20	30	20	40
M児	20	20	25	30	50

2. 今後の課題

- * 研究の今後の課題を明らかにするとともに、次年度(最終年度)の研究の方向性が見えるよう記述すること。
- ・ 事前のプレテストによって子どもの実態を把握し、学習内容と勘案してコースを設定しているが、コースによって人員の差が大きくなることがある。コース選択に当たって、子どもが自分とコースをどう照らし合わせて選択するのかを理解し、よりよい支援を考えていく必要がある。
- ・ コースに合った学習カードの作成をしてきている。さらにコースの特性を明確にし子どもの学び方や性格、特性等に応じた学習カードを作り上げていく必要がある。
- ・ 子どもの追究意欲を高め、学習内容が確実に定着していくためのよりよい教具や追究活動をさらに見いだしていく。
- ・ よりよい評価のあり方(定着を図るための評価、一人一人の力にあった指導のための評価、意欲をもって学習するための評価等)についてさらに深めていく。

学力等把握のための学校としての取組

- * 児童の学習状況の変容を捉えるために、定期的に行っている各種調査などについて、調査の目的、実施内容、時期等を記すこと。
- ・ コース編成時におけるプレテストや授業の一般化の場面で、日常的に学習状況の評価し、指導に生かしている。
- ・ 単元が終了する度ごとに「単元テスト」を実施し、学習状況の評価している。
- ・ 3学期にコンピュータ診断テスト(CRT)を全学年で実施し、個々の学習状況を把握したり、全国平均との比較をしたりして、学力の定着・向上の状況を評価し、学級編制やコース編成に生かしている。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- * 研究会、説明会等の開催実績及び開催予定（日時、場所、対象、会の目的等）
- * 研究成果普及のためのHP作成、パンフレット作成等の実績（学校としての創意工夫を含む）及び今後の予定
- * フロンティアティーチャーとしての研究成果普及のための活動実績予定
- * 継続校において、研究成果の普及活動の成果（他校への反響等）などが見られた場合には、その点も記述すること。

授業公開及び研究協議会を開き、成果を広く公開している。

【平成14年度】

- ・日 時：平成14年6月27日（木）
- ・場 所：松本市立開智小学校
- ・テーマ：自ら学び、分かる喜びが感じられるコース別学習はどうあったらよいか
- ・対 象：松本教育事務所管内（中信地区）の小学校

地区研究協議会で成果を公開し、情報交換を行っている。

- ・日 時：平成14年12月4日（水）
- ・場 所：松本市立清水中学校
- ・対 象：松本教育事務所管内（中信地区）小中学校

【平成15年度】

授業公開を行い、成果を広く公開した。

- ・日 時：平成15年11月20日（木）
- ・場 所：松本市立開智小学校
- ・対 象：松本教育事務所管内（中信地区）小中学校及び 参観希望者

【平成16年度】

授業公開及び研究協議会で成果を広く公開していく。

- ・日 時：平成15年11月18日（木）
- ・場 所：松本市立開智小学校
- ・テーマ：自ら学び、分かる喜びが感じられるコース別学習はどうあったらよいか
- ・対 象：松本教育事務所管内（中信地区）の小学校を中心に管外の学校にも可能なかぎり呼びかける。

授業公開においては、3年間の歩みをまとめた冊子を配布する予定でいる。

松本市立開智小学校のHPに研究成果を掲載していく予定でいる。

(<http://www.city.matsumoto.nagano.jp/www-cbox/html/e-kaichi/index.asp>)

公開研究会（11/20）での参観者の感想から

- ・時間が終わっても、熱心に問題に取り組んでいる子どもたちが多くみられ本当に興味しました。学びを確かにする手だてをたくさんいただきました。
- ・子どもたちが”わからないところ”を明確にし意欲をもって学習できるための支援をたくさん学ぶことができました。私もがんばります。
- ・学習カードは大変工夫されていて参考になりました。
- ・ヒントカードや教室環境などが非常に参考になりました。今日の学びをさっそく明日からの指導に役立てたいと思いました。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無